

文部科学省
H28年度音声教材普及推進会議
(北陸・東海地区)

涌井 恵

国立特別支援教育総合研究所



特別支援教育教材ポータルサイト(支援教材ポータル)

<http://kyozai.nise.go.jp/>



「教材・支援機器」をキーワードや条件で絞り込んで検索します

「実践事例」をキーワードや条件で絞り込んで検索します



「教材・支援機器」と「実践事例」が相互に参照できるようになっています。

iライブラリー

<http://forum.nise.go.jp/ilibrary/>



発達障害教育情報センター

<http://icedd.nise.go.jp>

指導・支援

研修講義

教材・支援機器

研究紹介

施策法令

教育相談

イベント情報

文字の大きさ 表示色の変更 音声読み上げ等について

国立特別支援教育総合研究所

発達障害教育情報センター



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
National Institute of Special Needs Education

センターの紹介

はじめての方へ

教職員の方へ

保護者・一般の方へ

教育行政関係者の方へ

海外からご覧の方へ

研修講義は
こちらから

アンケートのお願い

関連リンク集

新着・更新情報

2014年4月11日

● [コンテンツ「施策法令」がリニューアルされました。](#) **NEW**

2014年3月31日

● [3月29日\(土\)に、世界自閉症啓発デー2014・シンポジウムが行われました。](#)

2014年2月17日

● [「図書リスト\(2007年～2013年\)のリンクを更新しました。](#)

2013年12月9日

● [「世界自閉症啓発デー2013 in 横須賀」が開催されました。](#)

コンテンツのご案内



[指導方法や支援について知りたい](#)

発達障害のある子どもの理解、対応の仕方等についての基本的な情報を提供します。



[研修講義\(教員向け\)が見たい](#)

発達障害のある子どもに関わる、理解・指導・支援についての教員向けの講義を動画でお届けします。



[教材教具や支援機器を知りたい](#)

発達障害のある子どもの教育に活用されている教材・教具や支援機器等について紹介します。



[発達障害に関する研究を知りたい](#)

発達障害のある子どもの特性に応じた教育的支援に関する研究や文献等を紹介します。



[国の施策・法令等を知りたい](#)

発達障害に関する国の施策や法令、事業等についての情報を提供します。



[教育相談に関する情報が知りたい](#)

文字のサイズ

標準色の変更

音声で読み上げたい方へ

ひらがなで読みたい方へ

色が見にくい方へ

トピックス

● [イベント・研修会情報](#)

【最終更新日: 2014.4.11】

● [ガイドブック等](#)

● [教材教具データベース](#)

(文部科学省委嘱事業: 全国LD親の会作成)

● [発達障害情報・支援センター](#)

(厚生労働省 国立障害者リハビリテーションセンター)

世界自閉症啓発デー
＜特設サイト入り口＞

毎年4月2日は、国連の定めた
世界自閉症啓発デー
4/2～4/8発達障害啓発週間

教材展示室



インクルーシブ教育システム構築支援データベース (インクルDB)



文字の大きさ
表示色の変更
▶ [アクセシビリティツールを起動](#)
▶ [ツールの使い方](#)

- ▶ トップページ
- ▶ 実践事例データベース
- ▶ 基礎的情報
- ▶ Q & A
- ▶ その他関連情報

トップページ

◎インクルDBについて

本サイトには、大きく2つのコンテンツがあります。

『[合理的配慮実践事例データベース](#)』は、文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」において取り組まれている実践事例について検索するシステム(データベース)です。

『[関連情報](#)』では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を掲載しています。



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム構築支援データベース (インクルDB)

▶ トップページ ▶ 実践事例データベース ▶ 基礎的情報 ▶ Q & A ▶ その他関連情報

トップページ

◎インクルDBについて

本サイトには、大きく2つのコンテンツがあります。

『[合理的配慮実践事例データベース](#)』は、文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」において取り組まれている実践事例について検索するシステム(データベース)です。

『[関連情報](#)』では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を掲載しています。

「合理的配慮」実践事例データベース

▶ **実践事例データベース**

平成25年度実践事例データを 11件 追加しました。
<平成25年度実践事例データ 計 105件 公開> (H27.3.27)

[\[事例を閲覧・活用される際の留意事項\]](#)
[\[実践事例データベースの検索方法\]](#)

関連情報

▶ **基礎的情報**
法令・施策や関連用語の解説など

▶ **Q & A**
インクルーシブ教育システム構築に関する 保護者向けのQ&A ました。

▶ **その他関連情報**
就学に関する情報、教材に関する情報など

平成24年7月に中央教育審議会初等中等教育分科会において、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」が報告されました。これを受けて、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を掲載したインクルーシブ教育システム構築支援データベース（略称：インクルDB）を文部科学省の協力を得て、平成25年11月に開設しました。そして、平成26年7月には、新たなコンテンツとして「『合理的配慮』実践事例データベース」を開設しました。インクルDBは、教育の関係者に向けた理解啓発や具体的なインクルーシブ教育システム構築支援に関する情報を提供することを目的としています。

リンクのお願い

国立特別支援教育総合研究所では、より多くの方々にインクルDBをご利用いただくため、リンクの設定をお願いしております。なお、リンクを設定する際は、国立特別支援教育総合研究所のインクルーシブ教育システム構築支援データベースへのリンクである旨を明記してください。
リンク先URL <http://inclusive.nise.go.jp/>

<http://inclusive.nise.go.jp/>

インクルDB

3つの音声教材制作団体の発表から

- 教科書が読めない
→スタートラインにつけない
- 個々のニーズに合わせてカスタマイズ
→使い勝手は利用者が選べる、きめる。
- 個々の困難さには個人差がある
→利用者には教育的効果が出ている
→どのような子どもにどう活用するか

通常の学級における ユニバーサルデザイン

特別な支援が必要な児童生徒だけでなく、
どの子どもにも過ごしやすく学びやすい
学校生活・授業を目指すこと（佐藤，2007）

学びのユニバーサルデザイン3原則

(CAST,2008)

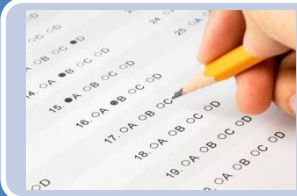
音声教材は原則 I をサポートしてくれるツール

What

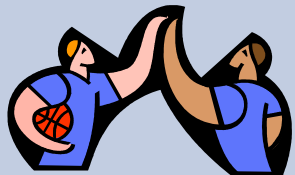


原則Ⅰ. 情報と知識を習得する様々な方法を学習者に与えるための多様な提示方法の工夫

How



原則Ⅱ. 学習者が知っていることを表現する際の代替手段となる多様な表現方法の工夫



原則Ⅲ. 学習者が興味をもったり、チャレンジするように適切にポンと軽く叩き入れて、学ぼうと動機づけるための多様な課題従事の方法の工夫

Why



子どもそれぞれの個人差に合わせた指導

学びのユニバーサルデザイン3原則

(CAST,2008)

多様な 提示方法の 工夫	多様な 表現方法の 工夫	多様な 参加の方法の 工夫
提示の オプション	身体的行為(表現) のオプション	興味を引くための オプション
言語やシンボルの オプション	表現スキルや流暢 性のためのオプション	努力し続けるため のオプション
理解のための オプション	実行機能のための オプション	自己調整のための オプション

子どもたちのねがい

勉強ができるようになりたい

星槎名古屋中 安部先生の報告から

- ・適切なツールが与えられれば、集中力up
- ・わかりやすい
- ・学習内容が記憶に残る
- ・音声教科書を継続して使いたい

できないのは、誰のせい？

上田市 小池先生の報告から

- 多動、立ち歩き

→自分に合った音声教材(デイジー教科書)

→着席して学習

→テストの点数のアップ



多動、立ち歩きは授業が
わからないから？

支援の意味

読みやすさ 読みにくさの疑似体験から

岐阜市立特別支援学校 神山先生の報告から

- 見え方、読み方の疑似体験
- ハイライトの意味
- 紙のテカリ
- 情報量の多さ
- 目で文字を追うことの苦手さ
 - 分かち書き
 - 縦書き、横書きの選択

3つの事例発表から

- ・教科書を読めないことはスタートラインにつけないこと。
- ・読み書きの困難さは子ども一人一人その背景や要因が異なる。
- ・多様なアセスメントツール、支援ツールを情報収集する。
- ・効果は子どもが判断、子どもに効果を確認する。
- ・「自分だけ特別」への抵抗感の視点も大切。
- ・個別指導の場から通常の学級へ、小から中学校へ。
- ・普及のためには教職員、保護者への研修も重要。

音声教材の普及させるために

- ・ 通級のような個別指導の場の活用
- ・ 家庭学習における活用
- ・ 通常の学級における活用

→ 場面による使い方の違い、オプション、カスタマイズ

- ・ 通常の学級で誰でも使える授業づくり
- ・ 異なる学び方を認め合える学級づくり

→ 校内における共通理解

→ 教育委員会を主体とした研修機会

→ 関係機関、保護者との連携

音声教材を普及させるために

- 学習支援のためのアセスメント
 - ・つまずきの把握と支援の必要性
- 特性理解から主体的な学びへ
 - ・本人の教育的ニーズの把握
- 「わかる」「できる」が肯定感・効力感に
 - ・学習評価のフィードバック

活用による子どもと教師の成功体験

もう一つ 大切なこと

合理的配慮

合理的配慮について(中教審初中分科会報告(H24.7)より)

【合理的配慮】

- 障害のある子供が、他の子供と平等に「教育を受ける権利」を享有・行使することを確保するために、
 - 学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うこと
 - 障害のある子供に対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に個別に必要とされるもの
 - 学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の負担を課さないもの

- 「合理的配慮」は、一人一人の障害の状態や教育的ニーズ等に応じて決定されるものであり、設置者・学校と本人・保護者により、発達の段階を考慮しつつ、「合理的配慮」の観点(※)を踏まえ、「合理的配慮」について可能な限り合意形成を図った上で決定し、提供されることが望ましく、その内容を個別の教育支援計画に明記することが望ましい。

※中教審報告において、合理的配慮の8観点11項目を整理(後述)

【障害者差別解消法(H25.6成立、H28.4施行)】

- 行政機関等は、その事務又は事業を行うに当たり、障害者から現に社会的障壁の除去を必要としている旨の意思の表明があった場合において、その実施に伴う負担が過重でないときは、障害者の権利利益を侵害することとならないよう、当該障害者の性別、年齢及び障害の状態に応じて、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的な配慮をしなければならない。(第7条第2項)
(※事業者は努力義務)

～普及のために～

子どもの本当の可能性を伸ばそう！

バイパス(自分なりの学び方/
代替手段)
をもっと認めよう。

読めない 書けない

↓↓

× 理解できないから

○理解できる形で情報が
与えられていない

二次的な学習の遅れを
防がなくてはならない



いろいろな学ぶ方を選べる、
活用できる授業・学級づくりを！！



ご清聴ありがとうございました